

# 北陸大学 Vision50 (by2025)

---

学校法人北陸大学

長期ビジョン(50周年ビジョン)・第1期中期計画

---





## 長期ビジョン策定の目的

長期ビジョン「2025年までに学生の成長力No.1の教育を実践する大学となる。」

少子高齢化社会、グローバル社会など、時代を読み解くキーワードはさまざまですが、どのような社会であっても大学はより良き社会の創造に貢献しなければなりません。時代を正しく捉え、常に改善に傾注する人材を輩出することで、その社会に寄与しなければなりません。それは私たちの揺るぎない使命です。

北陸大学は2015(平成27)年に創立40周年を迎えました。これまで築いてきた伝統を守りつつ、これからの時代を見据えて何を変えていくべきか、社会は何を求めているのか、どのような人材が必要なのか、社会の変化、時代の要請を考え、2017(平成29)年度より新しい教育体制へシフトしました。

そして、創立50周年である2025(平成37)年に向け、さらなる飛躍を遂げるために大切なことは「本物の教育力を持った大学になる」ということです。学生一人ひとりへのきめ細やかな教育により育て上げ、最後は社会が欲する人材として巣立つようにする。これが私たちの存在意義と捉え、2025年に本学は「学生の成長力No.1の教育を実践する大学となる」という長期ビジョン「北陸大学 Vision50 (by2025)」を策定しました。

この長期ビジョンを具現化するためには、法人と大学が一体となり、共通の現状認識に基づく一致した基本政策の策定及び推進が重要であることから、今後取り組むべく施策を第1期中期計画としてまとめました。

地域・社会に求められる大学であり続けるために、本学は「学生の成長力No.1の大学になる」という目標に向かって変革に挑んでまいります。

理事長・学長 小倉 勤

# 目次

長期ビジョン策定の目的 .....	1
学校法人北陸大学 長期ビジョン・第1期中期計画概念図 .....	3
学校法人北陸大学 長期ビジョン・第1期中期計画重点項目概要 .....	4
法人・大学の理念・目的 .....	7
長期ビジョン・中期計画策定体制 .....	8

**I 長期ビジョン**  
(50周年ビジョン)

**2025年までに学生の成長力No.1の教育を  
実践する大学となる。【北陸大学Vision50 (by2025)】**

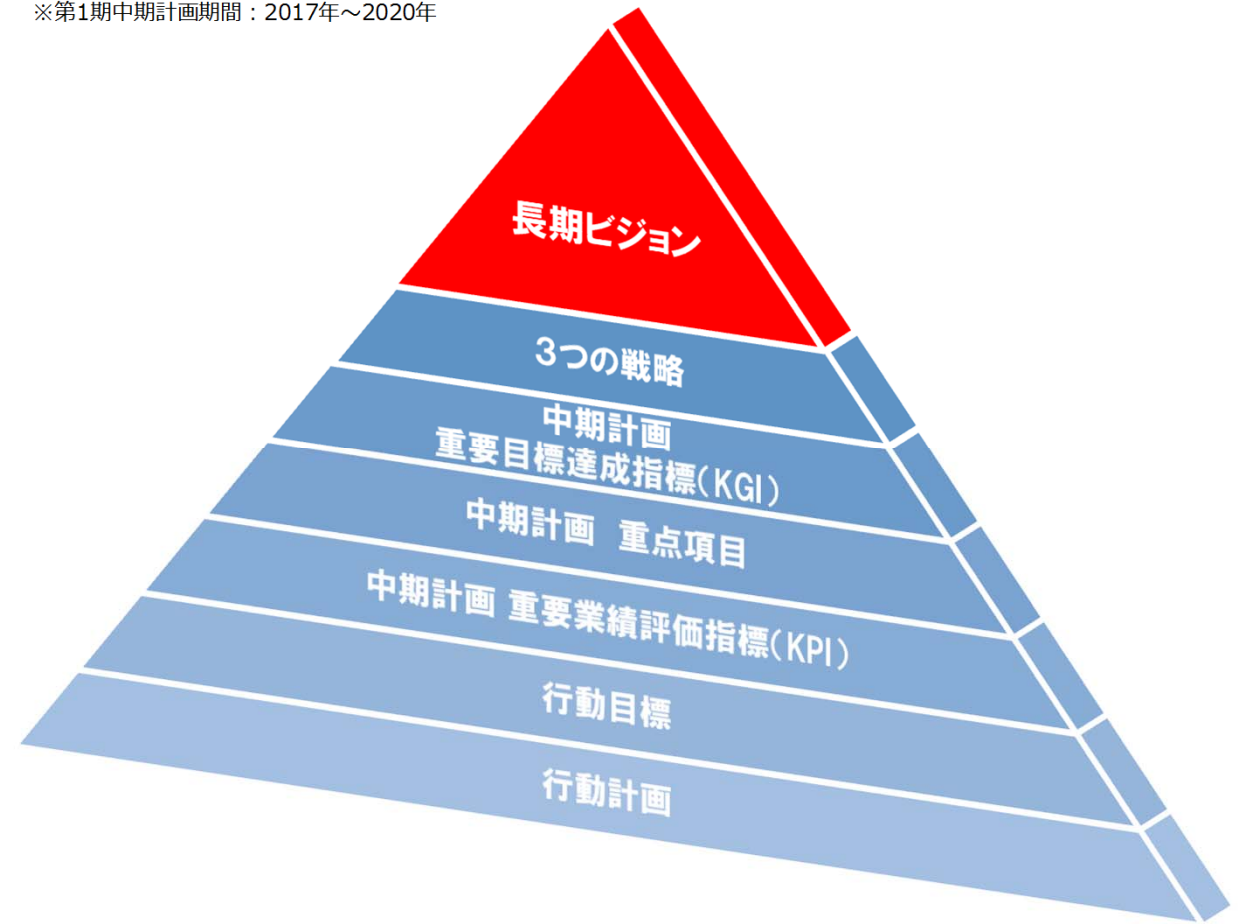
北陸大学は、学生の能動的な学修を促す先進的かつ多様な教育を組織的に実践することにより、主体的に考え行動でき、社会に必要な問題解決能力を持つ「自らの未来を切り拓く力」を備えた人材を育成する大学となる。

そして、健康社会を実現するために、医療人としての専門職業人、世界基準で行動できる国際人、地域をマネジメントするリーダーを輩出することにより地域社会の更なる発展・貢献を果たす。

そのために、教職員が学生と共に成長する意識を持ち、常に教育改革と大学の安定的な運営に全力で取り組むことを約束し、北陸地域の基幹大学となる。

■長期ビジョン・中期計画の体系図

※第1期中期計画期間：2017年～2020年



**II 3つの戦略**

- 学生の成長を支える魅力ある教育・研究の実践
- 教職員の活性化
- 安定した経営基盤の確立

**III 重要目標達成指標**

長期ビジョン実現に向け、全学的に取り組む中期計画重要目標達成指標（KGI）として、入学者確保・退学防止・就職率向上を設定し、その達成を本学の教育成果とする。

**IV 重点項目**

KGIを達成するために7つの重点項目と、個々に定量的もしくは定性的な目標（重要業績評価指標：KPI）を設定する。

1	教育改革	基本方針	多様な学習歴を持つ学生が入学してくる中、まずもって重要なのが、学生が目標を設定し、学ぶ意義を理解するなど、学修者としての意識を醸成すること及びその継続であり、また、それを導く教員力でもある。何を教えたかではなく、学生自身が何を身につけたのかとの視点に立ち、カリキュラムなど教育の枠組みを始め、教育手法、教職員の能力開発など、教学に関し、あらゆる角度からの見直しを行い、真に学生の成長を引き出す教学を創造する。	行動目標	・3つのポリシーの明確化と実質化 ・カリキュラム・ポリシー（C P）に基づいた学力の保証 ・初年次教育と教養教育の再構築 ・学生の能動的な学修を促すための取り組みと教育力及び教育の質向上
2	学生支援	基本方針	学生生活満足度の向上を目指した学生支援体制の強化を図り、学生が意欲を持って学業や課外活動に取り組み、学生の成長を引き出す学生支援を実践する。	行動目標	・正課外活動の活性化 ・キャリア支援の強化 ・学生の成長を促す学生生活支援
3	研究活動活性化	基本方針	特色のある質の高い研究を推進するための環境を整備し、研究成果を広く発信し、知識基盤教育の発展に寄与する。研究力の強化により教育の質の向上と社会的評価の向上を図る。	行動目標	・研究成果の社会への発信強化 ・研究活動の促進に向けた研究環境整備 ・科学研究費補助金（外部研究資金）等の申請・採択件数の向上
4	国際化推進	基本方針	「Global Eyes -金沢に学び世界にかける-」の教育スローガンの下、基礎学力、豊かな教養、優れた語学力、的確な判断力を持ち、地域並びに世界の発展に貢献できるグローバル人材を養成する。	行動目標	・海外提携校・海外留学・海外研修の拡充によるグローバル人材の育成 ・海外留学・研修に参加しやすい環境の整備
5	地域・産学官連携推進・ネットワーク強化	基本方針	地域社会への貢献が大学の使命であるとの認識のもと、大学の知的・人的財産を地域に積極的に還元し、地域の教育・研究の強化、そして地域産業の発展に貢献する。また、地域を実践的な教育の場と捉え、学生の地域活動・ボランティア活動を推進する。保護者や卒業生等のステークホルダーとの連携により、大学との信頼関係を強化する。	行動目標	・地域・産学官連携・ネットワーク強化に関する全学的な基本方針の策定 ・地域との連携 ・保護者との連携 ・卒業生（同窓会）との連携 ・生涯教育・社会人教育の拡充
6	入学者確保	基本方針	受験者層との接触機会を増やし、意欲のある質の高い学生を確保するための施策を実施する。	行動目標	・各種接触者の増加 ・志願者及び入学者の増加
7	経営基盤強化	基本方針	社会の変化に機敏に対応し、大学を永続的に発展させるため、教学の主体性を尊重しつつ、法人全体のガバナンスを強化し、組織、人事、予算等に関する諸制度を見直す。さらに永続的な発展のため、安定的な財政運営を進めるとともに収入財源の多様化や経費削減を推進し、将来に向け経営基盤を強化する。	行動目標	・財務基盤の強化 ・経営ガバナンスの強化 ・教員人事制度と事務職員人事制度の見直し ・社会のニーズに適應した教育組織の改編 ・キャンパス整備 ・ダイバーシティの促進

# 学校法人北陸大学 長期ビジョン・第1期中期計画 重点項目概要

重点項目	重要業績評価指標(KPI)	行動目標	行動計画
1. 教育改革	①薬剤師国家試験合格率（新卒） ②薬学部1年次留年・退学率 ③医療保健学部1年次留年率 ④経済経営学部（編入留学生除く）退学率 ⑤公務員採用試験合格者（新卒） ⑥2+2留学生大学院進学率 ⑦TOEIC750点以上取得者（日本人） ⑧中国語検定試験2級以上又はHSK5級（210点）取得者（日本人） ⑨日商簿記3級取得者（日本人1・2年次生） ⑩日商簿記2級取得者（日本人3・4年次生） ⑪教員採用試験合格者（新卒） ⑫臨床検査技師国家試験合格率（新卒） ⑬臨床工学技士国家試験合格率（新卒） ⑭ダブルライセンス（検査・工学）合格率（新卒）	(1) 3つのポリシー（DP:ディプロマ・ポリシー） （CP:カリキュラム・ポリシー（AP:アドミッション・ポリシー）の明確化と実質化	①3つのポリシーを点検・評価する体制整備と外部団体の参画 ②学修成果の調査・測定への導入や学修ポートフォリオの活用 ③大学全体としての共通の評価方針（アセスメント・ポリシー）の確立
		(2) カリキュラム・ポリシー（CP）に基づいた学力の保証	①カリキュラム・マップ、カリキュラム・ツリーの策定及びナンバリングの実施 ②教育効果を高める密度の高い教育を実現するための授業科目の再編・統廃合及び授業時間割の見直し並びに配置科目数の削減を含めた適正化 ③組織的な教育を実現するための仕組みの構築 ④成績評価の信頼性及び妥当性の確保
		(3) 初年次教育と教養教育の再構築	①全学リメディアル教育の導入と充実化 ②全学共通教養（一般）科目の整備 ③習熟度別クラス・少人数クラスの設定 ④学習支援センター設置 ⑤入学前教育、フレッシュマンセミナー、基礎ゼミナールなどの順次的・体系的な実施 ⑥ピアサポート、チュードント・アシスタント（SA）等の質向上や活用
		(4) 学生の能動的な学修を促すための取り組みと教育力及び教育の質向上	①全科目のアクティブ・ラーニング型授業への転換と学外の組織と連携したアクティブ・ラーニング型授業の全学的な実施 ②SAによるサポート体制の充実とピアサポートの拡充 ③学生アンケートなどの有効活用 ④シラバスの充実と記載内容のチェック体制の構築 ⑤FD活動への学生の参加を含めた教員・職員・学生が一体となった教育改善 ⑥SDの実施計画の策定と実施 ⑦教育研究施設の改善（学生と教員が集う教育研究棟の整備と事前・事後学修を支援する環境の整備） ⑧教育資材・材料の開発及びそれらを活用した授業の運営 ⑨学生及び教職員のICT活用能力の向上
2. 学生支援	①学生満足度調査による満足度率 ②クラブ・サークル活動への加入率 ③SA・学内ワークスタディ・ピアサポート等の参加率 ④強化クラブの活性化：全クラブ全国大会出場 ⑤進路支援講座等（正課以外のキャリア講座）参加学生数 ⑥国内インターンシップ参加者（日本人） ⑦国内インターンシップ参加者（留学生（ITコース履修留学生除く）） ⑧学内企業セミナー参加企業数	(1) 正課外活動の活性化	①強化指定クラブの施設整備と指導体制の強化 ②文化系クラブの支援及びクラブ活動全般の活性化 ③学友会・学園祭実行委員会組織の強化 ④学内諸活動に積極的に関わる学生数の増加
		(2) キャリア支援の強化	①インターンシップ制度の充実 ②進路支援課・薬学学務課と学部との連携強化 ③公務員養成等資格取得支援体制の強化と学生の参加者数の向上 ④企業訪問、学内企業セミナーなどによる企業との接点強化 ⑤留学生の進路支援の強化
		(3) 学生の成長を促す学生生活支援	①学生相談体制（心身両面）の整備・拡充（担任制度、保健室、キャンパス相談室） ②1年次前期のサポート体制の強化（修学上の不安や悩み、人間関係等による精神的孤立の解消や居場所づくりの支援、学習支援センター設置の検討） ③障がいのある学生への支援体制の構築 ④奨学金制度の利用促進と学内ワークスタディ制度の確立 ⑤自主的な学修を促す環境整備と快適な生活環境の整備
3. 研究活動活性化	①全学的な研究事業の各種補助金の採択件数 ②外部研究資金の獲得金額 ③科学研究費補助金申請率（代表・分担）・新規採択率 ④受託研究・共同研究受入件数 ⑤北陸大学特別助成金（特別研究・教育改革）採択件数 ⑥論文、紀要への投稿、著書の発刊、書籍への執筆、学会（国内外）等での発表件数	(1) 研究成果の社会への発信強化	①研究成果の可視化促進 ②機関リポジトリの活用 ③シンポジウム・研究会の開催 ④紀要の強化
		(2) 研究活動の促進に向けた研究環境整備	①研究推進委員会の強化及び支援部局の整備 ②研究表彰制度の創設 ③補助金制度を活用した計画的な研究設備・施設の充実 ④学内の教員間交流の推進による特別助成金制度の効果的な利用 ⑤全学的な研究事業の構築と優先的予算配分 ⑥研究活動活性化に向けた個人研究費の見直し ⑦サバティカル研修制度の検討
		(3) 科学研究費補助金（外部研究資金）等の申請・採択件数の向上	①外部資金の募集情報の提供、申請、執行、報告などの支援体制の整備 ②科学研究費補助金の採択率向上に向けた学内制度及び研修体制の設計 ③学外研究者との共同研究による研究分担者として採択件数の増加

重点項目	重要業績評価指標(KPI)	行動目標	行動計画
4. 国際化推進	①国際交流プログラム（短期派遣）の拡充 ②海外提携校拡大 ③海外派遣学生数の増加 ④留学生の受入（留学生構成比率） ⑤外国語のみによる授業科目の開設 ⑥外国人教員の増加 ⑦海外インターンシップ参加者	(1) 海外提携校・海外留学・海外研修の拡充によるグローバル人材の育成	①国際交流センターと各学部との緊密な連携による既存プログラムの充実と新しいプログラムの開発を図る ②海外提携校の拡大や国の多様化による海外留学派遣及び留学生受入の促進 ③海外インターンシップの参加を促す仕組みの構築（セミナーや見学等の実施） ④国際コミュニケーション学部生の海外研修全員参加への取組み促進 ⑤留学生の募集（受入）の促進や魅力ある教育内容及び生活支援の充実
		(2) 海外留学・研修に参加しやすい環境の整備	①語学の自律的学習支援施設の整備及び運営 ②外国語のみによる授業科目（外国語教育以外）の開設 ③各種留学奨学金制度による海外留学の促進 ④海外留学派遣前と派遣後の就職活動支援の強化 ⑤外国人教員の積極的な採用
5. 地域・産学官連携推進・ネットワーク強化	①地域連携プログラムの開発・実践 ②ボランティア活動参加学生数 ③保護者懇談会参加者率 ④公開講座開講数・受講生数	(1) 地域・産学官連携・ネットワーク強化に関する全学的な基本方針の策定	①地域・産学官連携・ネットワーク強化に関する全学的な基本方針の策定
		(2) 地域との連携	①定期的な協議会の実施 ②全学的な地域連携科目の導入 ③学内外のボランティア活動の推進 ④関連団体（職能団体等）と連携した研修会・セミナーの開催
		(3) 保護者との連携	①保護者会の内容充実 ②保護者に対する情報提供の充実
		(4) 卒業生（同窓会）との連携	①同窓会への支援強化 ②卒業生に対する情報提供の充実
		(5) 生涯教育・社会人教育の拡充	①公開講座の充実 ②社会人・高齢者に学び直しの機会の提供
6. 入学者確保	①資料請求数増加 ②オープンキャンパス（OC）参加者数増加 ③入学志願者目標	(1) 各種接触者の増加	①オープンキャンパス参加者数増加と日程・回数の適正化 ②資料請求者数増加 ③ガイダンス接触者数増加 ④進学説明会参加校数増加 ⑤高校教員接触数増加（高校訪問、進学説明会等） ⑥北陸3県外志願者数増加 ⑦本学HPの充実（PV増加）と受験サイト・OCサイトの早期公開 ⑧大学案内及び募集要項の充実と早期配布
		(2) 志願者及び入学者の増加	①大学ブランド力向上のためのマスメディア・SNS・ブログ等による広報強化 ②オープンキャンパス充実（内容、学生スタッフの質向上） ③入試日程の設定（試験内容、出願期間、試験日、締切日） ④意欲ある質の高い入学者確保に向けた奨学金制度の検討 ⑤入試の共通化と簡素化 ⑥入学前教育の充実と合格者へのアフターケア ⑦非出願者・非入学者へのアンケート調査 ⑧強化指定クラブの成果の積極的な発信 ⑨学力の3要素を踏まえた多面的・総合的に評価する入学者選抜の実施 ⑩多様な背景を持つ受験者を受け入れるための定員枠の設定 ⑪入学者の追跡調査の実施と入試制度・広報への反映 ⑫高大接続の連携強化

重点項目	重要業績評価指標(KPI)	行動目標	行動計画
7. 経営基盤強化	① 経常収支差額の改善 ② 寄付金獲得金額 ③ 教員人事制度の見直し ④ 教育組織の見直し及び再編	(1) 財務基盤の強化	① 中長期財務計画の策定
			② 寄付金収入の拡大
			③ 戦略的な補助金申請や外部研究資金の採択強化
			④ 経費支出の適切な見直し（業務の合理化・効率化、省エネルギー対策）
			⑤ 人件費の適正化（多様な雇用形態の導入、学部人件費の設定、人員構成の適正化）
			⑥ 学費・奨学金等の見直し
		(2) 経営ガバナンスの強化	① 担当理事制の執行機能体制の強化
			② 理事会、評議員会、監事及び常任理事会の役割の明確化と機能の見直し
			③ 大学教学組織の見直しと意思決定、執行機能体制の強化
			④ 学長、副学長、学部長、学長補佐の目標管理と業績評価の導入
			⑤ 危機管理体制の強化
			⑥ I Rと自己点検・評価の強化
			⑦ 事務組織体制の恒常的な検討
			⑧ 全学委員会のあり方を見直し
			⑨ 長中期計画の推進と検証のための体制
			⑩ 中期計画に連動した事業計画の策定と進捗状況の把握及び計画的な実施
		(3) 教員人事制度と事務職員人事制度の見直し	① 多様な雇用形態の導入と見直し
			② 教職員の優れた取り組みを公正に評価する人事考課制度の構築
			③ 専任教員の学部別定数の決定
			④ 業績評価制度の充実と給与制度の見直し
		(4) 社会のニーズに適応した教育組織の改編	① 学部改組、新学部・大学院設置などの新構想の立案
		(5) キャンパス整備	① 学修環境や課外活動施設の充実
			② 快適な学内環境の充実
			③ キャンパスマスタープランの策定・見直し
(6) ダイバーシティの促進	① 多様な人材が活躍できる大学づくり		
	② 女性・若手教育研究者が活躍できる環境整備		
	③ 女子学生受け入れ体制強化		



# 法人・大学の理念・目的

## ■建学の精神・教育理念

『自然を愛し 生命を尊び 真理を究める人間の形成』

本学の存在意義は「健康」な社会を形成するに足りる人材の養成に尽きる。健康は、人類が永遠に求め続ける理想像である。本学は、過去、現在、未来も「健康」を担う社会人を養成する大学として地域社会に存在を示して行かなければならない。健康社会実現のために地域に貢献するグローバル人材を育成する。

## ■大学の使命・目的

『健康社会の実現』

## ■教育理念を表すタグラインとコミュニケーションマーク

### □タグライン

21世紀を生き抜くチカラ。

北陸大学が育み、学生の皆さんにもたらすもの。それは「自ら未来を切り拓く力」です。先の見えない時代を生きていく強さ、知識だけではない「総合的な人間力」を養成する教育の理念を明確に伝え、また印象づけることを最大の目的として、本学で身につける力がこの先の人生すべてに活かされるものであることを表現します。

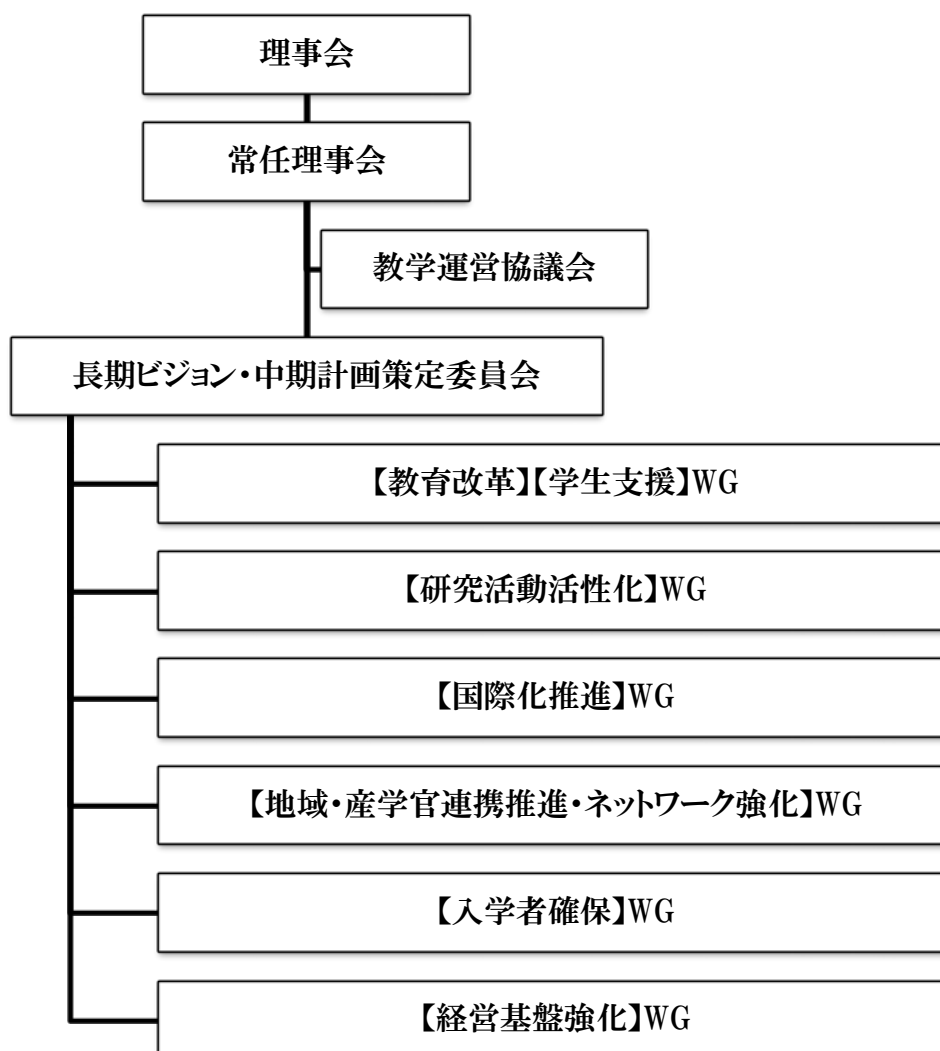
### □コミュニケーションマーク



北陸大学の頭文字「H」をモチーフに、「I（私）に力を+（プラス）する教育」を表現しています。カラーリングは従来から本学のコーポレートカラーであった緑を基調として、より若々しく軽やかな印象のライトグリーンとしました。またプラスの部分は「輝き」を連想させるフォルムとし、学生が身につける力の象徴としています。

## 長期ビジョン・中期計画策定体制

実行力のある計画を立案するために、各重点項目の責任者を理事とし、委員を、5年後、10年後の組織を背負うこととなる世代の教職員を中心に構成した長期ビジョン・中期計画策定委員会を常任理事会の下に設置し、中期計画に基づき、項目毎にアクションプラン(誰が、いつまでに、どのように)を策定するアクションプラン策定ワーキンググループ(WG)を長期ビジョン・中期計画策定委員会の下に設置しました。







21世紀を生き抜くチカラ。

# 北陸大学

薬学部／薬学科

経済経営学部／マネジメント学科

国際コミュニケーション学部／国際コミュニケーション学科

医療保健学部／医療技術学科

未来創造学部／国際教養学科 国際マネジメント学科

留学生別科

## 【企画部】

〒920-1180 石川県金沢市太陽が丘1-1

TEL: (076) 229-1161 (代表) FAX: (076) 229-1348

<http://www.hokuriku-u.ac.jp>

発行 2017年4月1日